

平成18年度

荒川区予算案の概要

(平成17年度最終補正予算案の概要を含みます)

平成18年2月

荒 川 区

1 編成方針

平成18年度予算は、

「財政構造改革を一層推進するとともに、区民の幸せを実現するためにさらなる前進を図る予算」

と位置付け、以下の4点に重点を置いて編成しました。

- 1 さらなる財政構造改革を推進するために、「あらかわ刷新プラン」に基づいた行政改革はもちろんのこと、引き続きすべての事務事業について、原点に立ち返った再検証を行うとともに、社会経済情勢の変化、国、都及び民間との役割分担の明確化などの視点に基づき、必要な再構築を図ること
- 2 将来の財政負担等を十分見極めた上で、新たな需要の増加に適切に対応するため、基金や起債を積極的に財源として活用するなど、中長期的な視点に立った財政運営を行うこと
- 3 「あらかわの未来を拓く新生プラン」に掲げられた施策の着実な実現に向け、福祉や教育、子育て支援、防災・防犯、環境、産業活性化など、区政の重要課題に限られた財源を重点的かつ効果的に配分すること
- 4 歳入確保に最大限の努力を払うとともに、区民に真に必要とされるサービスの維持・向上の観点から、新たな財源確保に積極的に取り組むこと

2 財政規模

一般会計の財政規模は848億円で、前年度に比べ96億円、12.7%の増となりました。

基金の統廃合といった特殊要因を除くと実質的には806億円、前年度に比べ54億円、7.1%の増となっています。

平成18年度予算は、厳しい財政状況にあっても、新たな区民ニーズに応えるべく、限られた財源を福祉や教育、子育て支援、防災・防犯、環境、産業活性化など、区政の重要課題に重点的・効果的に配分した予算としました。

なお、特別会計3会計を合わせた全会計での予算規模は1,351億円となっています。

(単位：百万円)

区 分	18年度	17年度	増()減	増()減率
一 般 会 計	84,830	75,260	9,570	12.7%
うち基金の統廃合	4,218	0	4,218	皆増
特殊要因を除いた 実質的な増減	80,612	75,260	5,352	7.1%
国民健康保険事業特別会計	22,839	22,146	693	3.1%
老人保健医療特別会計	16,407	17,566	1,159	6.6%
介護保険事業特別会計	10,981	10,159	822	8.1%
計	135,057	125,131	9,926	7.9%

【参考】荒川区・東京都・国の財政規模の推移（一般会計当初予算）

(単位：億円、%)

区 分	13	14	15	16	17	18
荒 川 区	842	736	724	795	753	848
伸び率	1.4	12.6	1.7	9.9	5.3	12.7
東 京 都	62,060	59,078	57,295	57,080	58,540	61,720
伸び率	3.6	4.8	3.0	0.4	2.6	5.4
国	826,524	812,300	817,891	821,109	821,829	796,860
伸び率	2.7	1.7	0.7	0.4	0.1	3.0

3 歳 入

昭和56年度以降、区は、当初予算での財源不足を補うため、家計で言えば貯金に当たる基金を取り崩すことにより対応してきました。平成18年度予算では、職員定数の削減をはじめとした行政改革の推進や事務事業の再点検・再構築などの対応策を講じることにより、前年度予算に引き続き、財政調整基金及び特別区債管理基金からの繰入れを行わずに収支の均衡を図ることができました。

特別区税は、税制改正の影響等により、9億6千万円の増となる見込みです。また、「三位一体の改革」（18年度実施分）に伴う国庫補助負担金の削減などにより、国庫支出金等が3億8千万円の減となる一方で、国からの税源移譲により、所得譲与税は5億5千万円の増となっています。基金繰入金は、基金の統廃合の影響により36億7千万円の増、特別区債は、起債の有効活用により3億円の増となっています。

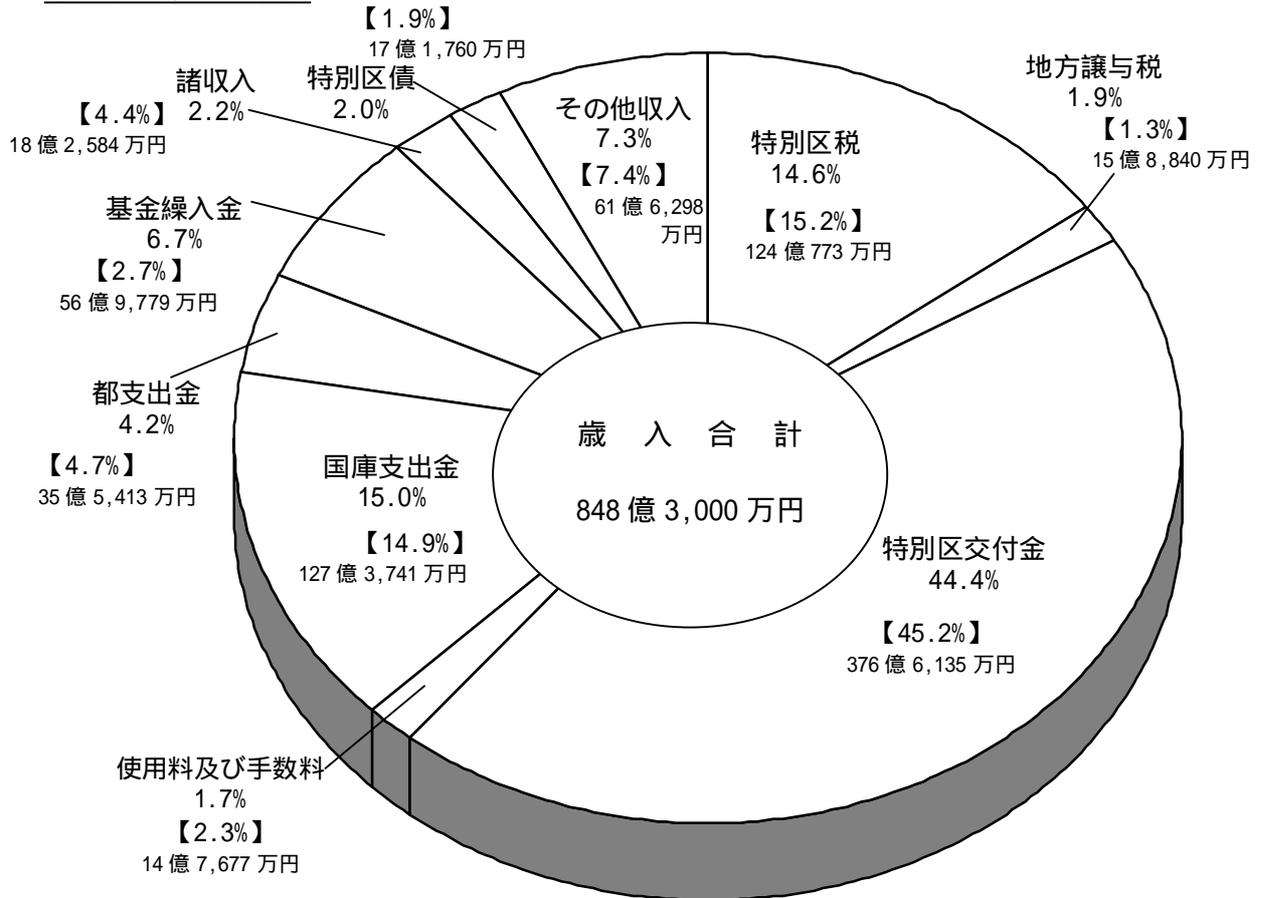
使用料及び手数料は、指定管理者制度の影響により2億円の減、諸収入は中小企業融資において、融資内容の充実を図りつつ、金融機関への融資原資の預託制度を見直すことなどにより15億円の減となっています。

(単位：百万円)

区 分	18年度	17年度	増()減	増()減率
特別区税	12,408	11,453	955	8.3%
地方譲与税	1,588	974	614	63.0%
うち所得譲与税	1,185	633	552	87.2%
特別区財政調整交付金	37,661	34,001	3,660	10.8%
使用料及び手数料	1,477	1,707	230	13.5%
国庫支出金	12,737	11,237	1,500	13.3%
都支出金	3,554	3,505	49	1.4%
基金繰入金	5,698	2,031	3,667	180.6%
財政調整基金	0	0	0	-
特別区債管理基金	0	0	0	-
諸収入	1,826	3,333	1,507	45.2%
特別区債	1,718	1,403	315	22.5%
その他	6,163	5,616	547	9.7%
計	84,830	75,260	9,570	12.7%

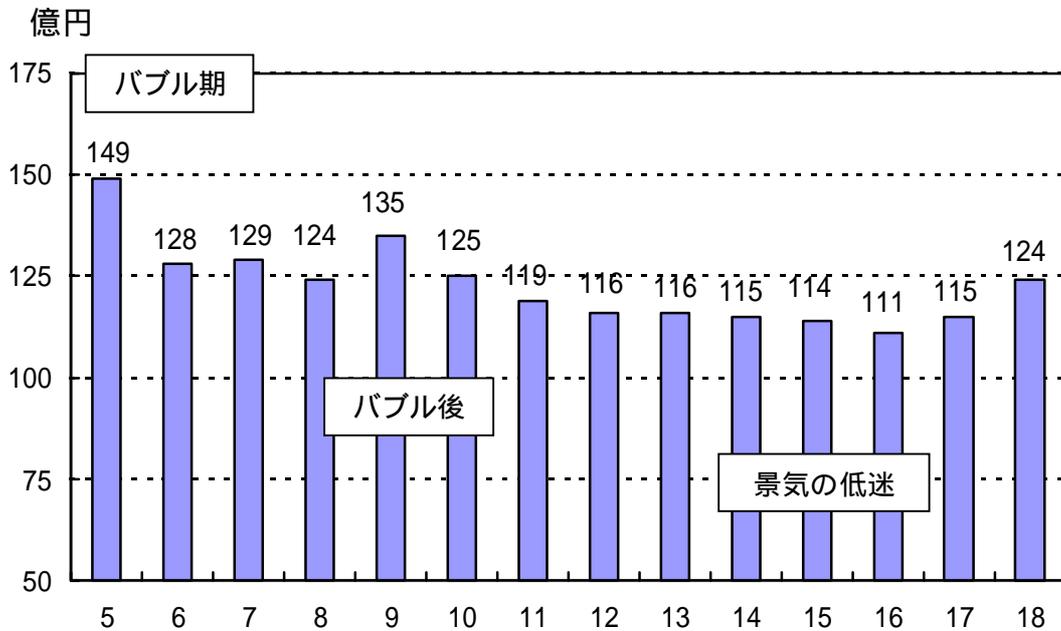
特別な財源対策

歳入の構成割合



注：【 】内は17年度当初予算の構成割合です。

特別区税の推移



注：16年度までは決算額、17、18年度は当初予算額です。

4 歳 出

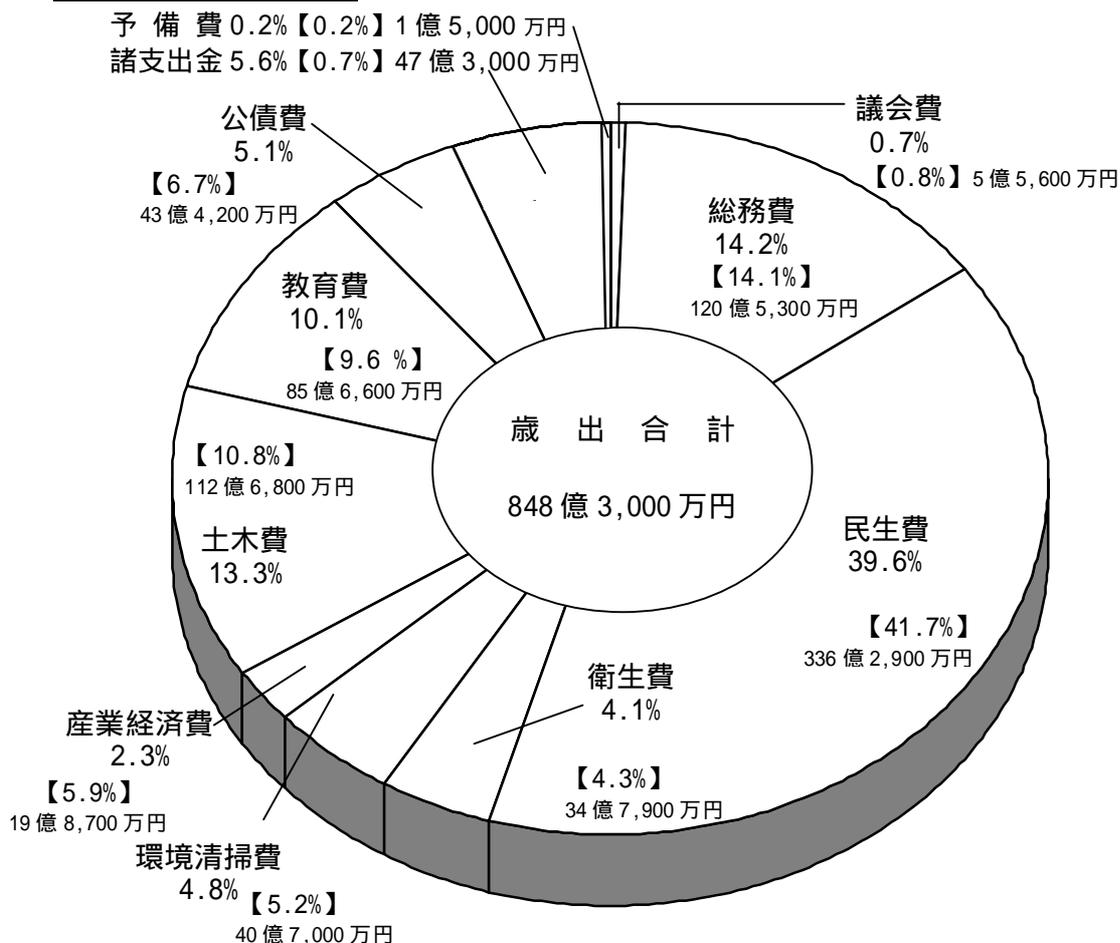
目的別内訳では、総務費を退職手当やふれあい館の整備などで14億円、民生費を生活保護費の増などにより22億円、土木費を市街地再開発事業などで32億円、教育費を白鬚西地区公共公益施設の整備などにより13億円、諸支出金を基金の統廃合により42億円の増としています。その一方で、産業経済費を中小企業融資において、融資内容の充実を図りつつ、金融機関への融資原資の預託制度を見直すことなどにより25億円、公債費を7億円、それぞれ減としました。

性質別内訳では、義務的経費において、人件費が退職手当などで3億円、扶助費が生活保護費などで8億円、普通建設事業費が市街地再開発事業などにより52億円の増となったものの、公債費を減税補てん債の元利償還金などで7億円の減としています。

(単位：百万円)

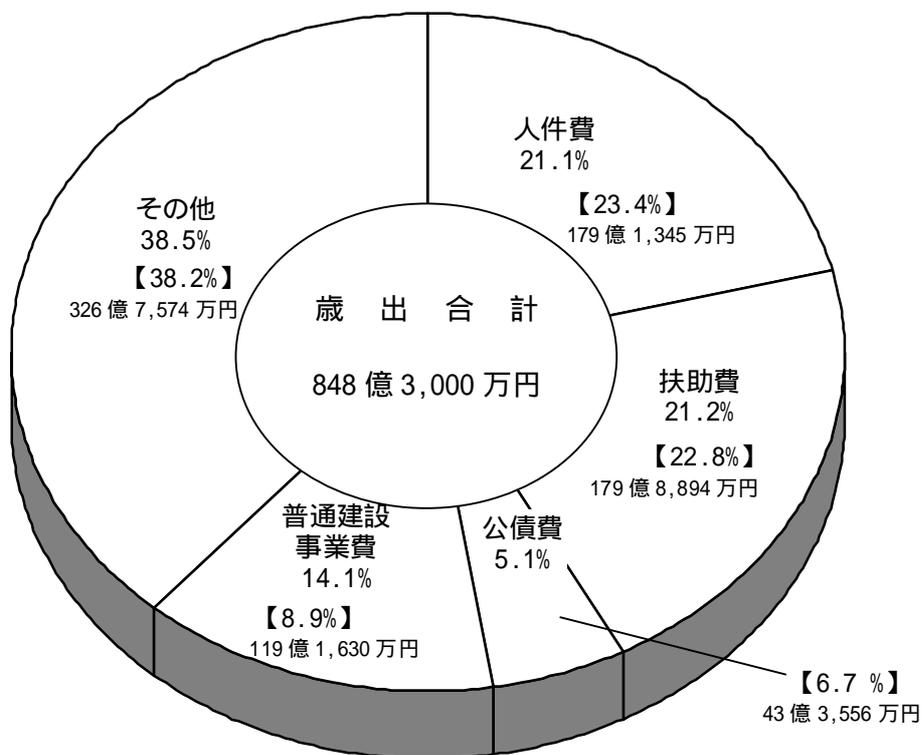
区 分	18年度	17年度	増()減	増()減率	
目的別内訳	議 会 費	556	580	24	4.1%
	総 務 費	12,053	10,642	1,411	13.3%
	民 生 費	33,629	31,411	2,218	7.1%
	衛 生 費	3,479	3,197	282	8.8%
	環 境 清 掃 費	4,070	3,884	186	4.8%
	産 業 経 済 費	1,987	4,458	2,471	55.4%
	土 木 費	11,268	8,111	3,157	38.9%
	教 育 費	8,566	7,238	1,328	18.3%
	公 債 費	4,342	5,048	706	14.0%
	諸 支 出 金	4,730	541	4,189	774.3%
予 備 費	150	150	0	0.0%	
性質別内訳	義 務 的 経 費	40,238	39,820	418	1.0%
	人 件 費	17,913	17,624	289	1.6%
	扶 助 費	17,989	17,156	833	4.9%
	公 債 費	4,336	5,040	704	14.0%
	普通建設事業費	11,916	6,720	5,196	77.3%
	そ の 他	32,676	28,720	3,956	13.8%
計	84,830	75,260	9,570	12.7%	

歳出の目的別内訳



注：【 】内は17年度当初予算の構成割合です。

歳出の性質別内訳



注：【 】内は17年度当初予算の構成割合です。

5 財源の確保

平成18年度は、行政改革の推進、事務事業の再点検・再構築、新たな財源の確保及び起債の活用の4つの対応策により、19億円の財源を確保しました。

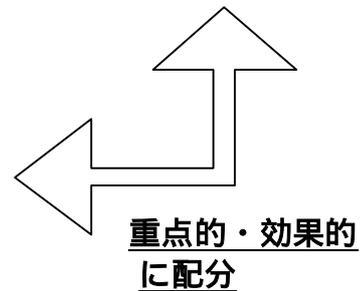
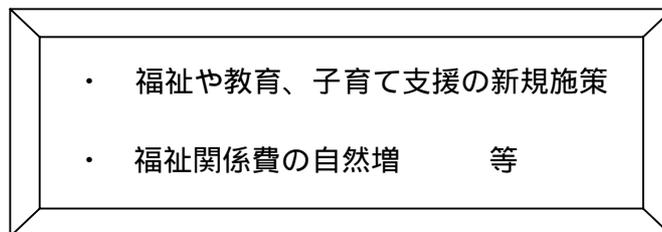
この財源確保額については、福祉や教育、子育て支援に向けた新規施策等に重点的・効果的に配分しました。

同時に、17年度予算に引き続き、財政調整基金等を取り崩すことなく、収支の均衡を図ることができました。

財源確保への対応策

(単位：億円)

行政改革の推進	3.6
事務事業の再点検・再構築	11.1
新たな財源の確保	0.8
基金・起債の活用	3.3
財政調整基金の取崩し	0
特別区債管理基金の取崩し	0
減税補てん債等の発行	3.3
計	18.8



対応策の具体的な内容

行政改革の推進

364百万円

職員定数の削減

「あらかわ刷新プラン」に基づく取り組みを徹底した結果、30名の職員定数を削減します。これに伴う人件費の削減効果は2億5,600万円となります。

人件費の見直し

給料表の改定、期末手当の見直しなどにより、9,018万円を減額します。

管理事務費の縮減

事務費や庁舎等の光熱水費の節減などにより、管理事務費を1,788万円縮減します。

事務事業の再点検・再構築

1,106百万円

主な見直し事業

(単位：千円)

事項名	見直し内容	削減額
被服貸与費	被服貸与の目的を明確にし、貸与品目を整理するなど、規程の見直しを図り、経費を節減します	953
職員健康管理事業	健診内容や契約方法の見直しを図り、経費を節減します	7,874
中小企業融資 原資預託	金融機関への融資原資の預託制度を見直します	1,091,000
資源回収事業	集団回収の拡大を図り、区の回収経費を節減します	3,523
緊急一時保護介護人派遣事業費	他の障害者福祉サービスとの均衡化の観点から実施方法を見直します	475
ムーブ町屋チケットぴあ事業	事業効果等を踏まえ廃止します	2,298
合計		1,106,123

注：削減額は、17年度当初予算との比較です。

新たな財源の確保	8 2 百万円
国庫支出金	2 5 百万円
都支出金	5 2 百万円
その他（自転車売却代金等）	5 百万円

起債の活用	3 3 3 百万円
減税補てん債の発行	1 7 2 百万円
減収補てん債の発行（区市町村振興基金借入）	1 6 1 百万円

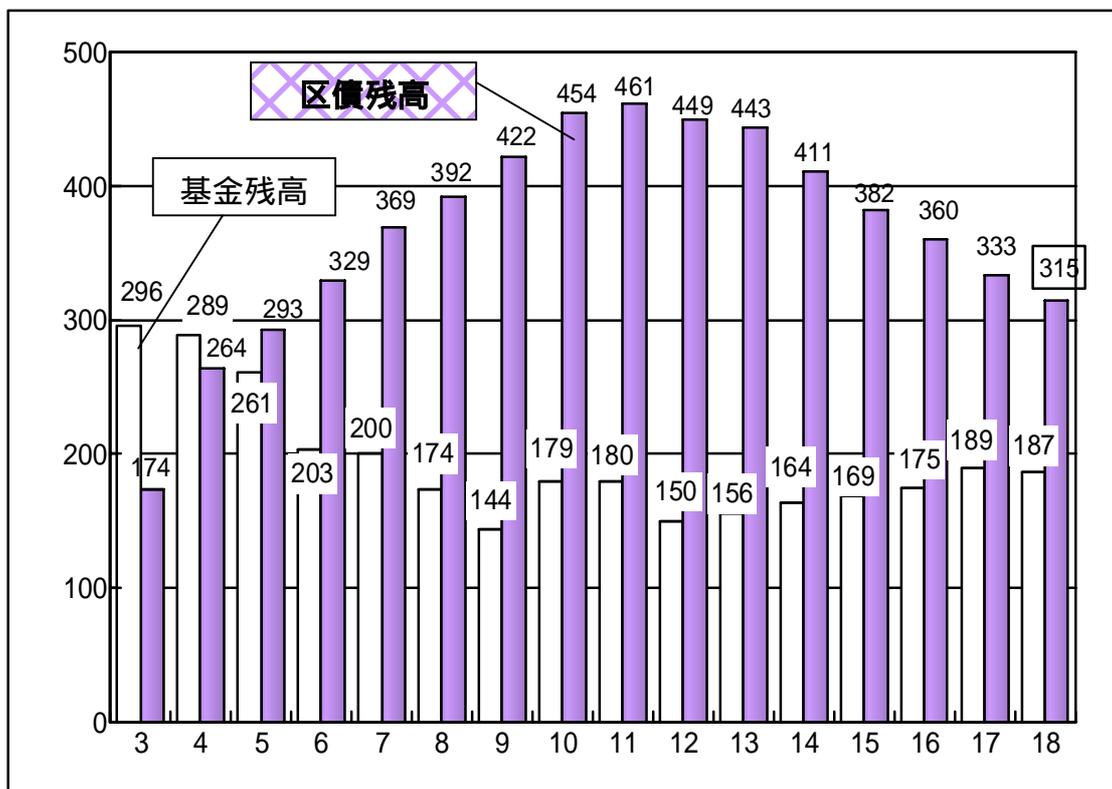
6 基金残高と区債残高の推移

区税収入の減等による財源不足に対応するため、これまで、基金や特別区債を積極的に財源として活用してきました。

この結果、家計で言えば貯金に当たる基金の残高は、平成2年度をピークに年々減少傾向にあり、18年度末現在でピーク時(2年度304億円)の約6割に当たる187億円となる見込みです。

また、ローンに当たる区債残高は、11年度をピークに減少傾向に転じたものの、区税収入の約2.5倍にあたる315億円で、依然として高い水準にあります。これを区民1人あたりに換算すると、4人世帯で66万円の借金を抱えている計算となります。この元本と利息の返済に、区は1日あたり1,200万円支払っていることとなります。

億円



注：各年度末、16年度までは決算、17年度は最終補正後、18年度は予算です。

基金残高	186億9,200万円(18年度末見込)
区民1人当たり	9万8千円
区債残高	314億5,636万円(18年度末見込)
区民1人当たり	16万5千円(4人世帯66万円)
区債の元利償還費	43億6,700万円(1日あたり1,200万円)

7 基金の統廃合の概要

基金の有効的な活用を図るため、現在の基金の統廃合や活用方法の見直しを行います。

1 基本的な考え方

活用実績がないかほとんど活用されていない基金について、統廃合や見直しを行い、区の施策に有効に活用できるようにします。

2 活用度の低い基金

(1) 街づくり基金

区の総合的な街づくりのために活用する基金ですが、平成13年度以降予算への繰入れ実績がありません。

(2) 代替地取得基金

公共事業の円滑な実施のために代替地をあらかじめ取得するための基金ですが、平成10年度以降活用の実績がありません。

(3) 社会福祉基金

利子を社会福祉事業に充当していますが、低金利時代の中で10億円の元本がありながら、十分な活用がされていません。

3 基金の統廃合及び見直し

(1) 街づくり基金

緑地整備基金、施設建設基金、代替地取得基金と統合し、取崩型の公共施設等整備基金とします。

(2) 代替地取得基金

街づくり基金、緑地整備基金、施設建設基金と統合し、取崩型の公共施設等整備基金とします。

(3) 社会福祉基金

現在の果実運用型から、取崩型の健康・福祉基金とします。

8 18年度予算の主要な事業

新	の	18年度から新規に実施する事業です	18年度予算額です
		事業名です	17年度予算額です
		999,999千円	999,999千円
		事業規模、場所等です	18年度に実施する事業の主な内容です

1 産業

		18年度予算額	17年度予算額
新	中小企業倒産防止共済加入助成事業	12,000千円	0千円
区内企業の連鎖倒産を防止するため、国が実施する「中小企業倒産防止共済制度」に、新たに加入する企業の掛金の一部を補助します。			
新	産業振興施設整備基礎調査	3,300千円	0千円
新たな産業振興の拠点となる産業振興施設の整備に向けて、基礎調査を実施します。			
新	中小機構サテライト事業	462千円	0千円
業務連携を行った独立行政法人中小企業基盤整備機構のサテライト事業（セミナー及び相談会）を区内の同一会場で定期的実施します。			
新	産学官連携交流事業費	20,000千円	0千円
産学官連携による福祉・介護系の新製品開発を促進するため、首都大学東京健康福祉学部と共同で高齢者の福祉・介護機器に関する実態やニーズを把握する調査を実施します。 また、新製品・新技術開発に取り組む区内企業に対して、大学や公的研究機関との共同研究・委託研究に必要な経費の一部を補助します。			
新	日暮里繊維街活性化支援事業費	9,443千円	0千円
日暮里繊維卸組合や服飾専門学校等の関係者が開催するファッションショーを支援します。また、中国大連市のファッションモデルを招聘して友好交流を促進します。			
新	公衆浴場広報等配布事業	2,972千円	0千円
公衆浴場に広報スタンドを設置し、区報等を公衆浴場利用者に配布することにより、公衆浴場を区政情報の発信拠点にするとともに、公衆浴場の魅了向上及び経営の安定を図ります。			
新	公衆浴場燃料費緊急助成事業	5,544千円	0千円
原油価格が高騰し、公衆浴場経営者にとって大きな負担増となっているため、18年度に限り、燃料に重油を使用している公衆浴場に対し、値上がりによる負担増額の一部を助成します。			

新	観光ガイド養成講座	137千円	0千円
---	-----------	-------	-----

区外からの観光客に、区内の観光スポットや史跡文化財などを案内する観光ガイドを養成します。

新	荒川ブランドセールスプロモーション事業	29,914千円	0千円
---	---------------------	----------	-----

荒川ブランドを商店街の空き店舗を活用して展示・販売するとともに、集客施設やイベントにおいて紹介し、荒川の魅力を発信します。

新	荒川区観光大使PR事業	1,379千円	0千円
---	-------------	---------	-----

荒川区と関係のある著名人等を観光大使に任命し、荒川区の魅力を多くの人に伝えてもらい、荒川区のイメージアップとPRを図ります。

新	観光振興懇談会運営費	8,357千円	0千円
---	------------	---------	-----

区における観光振興を推進するため、「荒川区観光振興懇談会」を設置し、懇談会の政策提言に基づき、新たな観光振興施策を構築します。

	中小企業融資の充実	1,258,553千円	2,363,655千円
--	-----------	-------------	-------------

金融機関への融資原資の預託制度を見直すとともに、施設・設備近代化融資の要件緩和、経営基盤強化緊急融資や経営改善借換融資の継続など、融資事業の一層の充実を図ります。

	経営革新等支援事業	26,753千円	25,786千円
--	-----------	----------	----------

新製品・新技術の開発や見本市等への出展、ISO認証取得や産業財産権取得に取り組む区内企業に対して、経費の一部を助成することにより、事業革新の取り組みを支援します。

18年度は単独での出展が困難な小規模企業を対象に、区が会場を借り上げ、見本市等への共同出展を行います。

	あらかわ経営塾運営費	4,342千円	4,192千円
--	------------	---------	---------

区内企業の経営革新の取り組みを支援するため、経営者、経営幹部、後継者等を対象に、戦略的な経営計画の策定と計画推進のための手法を習得する経営塾を実施します。

また、17年度の経営塾修了生を対象に、フォローアップセミナー等を開催します。

	4区合同産業活性化プロジェクト事業	2,500千円	2,500千円
--	-------------------	---------	---------

近隣の3区（台東区、墨田区、葛飾区）及び東京都との連携により、各区等が保有する産業集積、技術、人材等の地域資源をネットワーク化し、有効活用することによって、新製品・新技術の開発及び販路の拡張を促進し、ものづくり産業の活性化を図ります。

	区内製品販売支援事業費	7,731千円	7,680千円
--	-------------	---------	---------

区内企業の営業力の強化及び販路拡大を図るため、区内の優れた製品や特色ある商品をインターネットを通じて販売する「あらかわショッピングモール」の充実を図ります。

	産業振興懇談会運営費	31,202千円	5,500千円
--	------------	----------	---------

区内産業の活性化を図るため、産業振興懇談会による政策提言を基に新たな産業振興施策を構築します。

	商店街活性化総合支援事業費	72,224千円	101,084千円
--	---------------	----------	-----------

商店街及び商店街連合の販売促進やイベント開催、施設整備・ポイントカード事業などの活性化事業を計画段階から実施に至るまで総合的に支援します。

	商店街空き店舗活用事業費	15,262千円	12,856千円
--	--------------	----------	----------

商店街の空き店舗に道府県や友好都市のふるさと物産館等を誘致し、商店街への集客を図るとともに、賑わいを創出します。

	中心市街地活性化事業費	3,000千円	420千円
--	-------------	---------	-------

「株式会社あらかわティー・エム・オー」の活動を支援するとともに、南千住駅周辺地域の商業等活性化と市街地の整備を図ります。

	雇用促進事業費	9,252千円	84千円
--	---------	---------	------

区民の雇用促進・区内企業の人材確保を図るため、足立公共職業安定所など関係団体と連携し、「マイタウン就職面接会」を開催するとともに、17年10月に開設した「JOBコーナー町屋」の機能の拡充を図ります。

	観光マップの作成	1,500千円	1,600千円
--	----------	---------	---------

区内の観光スポットなどを紹介するため、携帯用の観光マップを作成します。

	観光イベント助成	2,450千円	2,450千円
--	----------	---------	---------

区民とともに荒川区の観光資源の育成を図るため、「尾久の原公園シダレザクラまつり」などの区民の取り組みを支援します。

2 教育・文化

18年度予算額 17年度予算額

新	ドナウシュタット区提携10周年記念事業	15,031千円	0千円
---	---------------------	----------	-----

ドナウシュタット区との友好都市提携10周年を記念し、現地に訪問団を派遣するとともに、荒川区国際交流協会が区内で実施する交流会やコンサートなどの記念事業を支援します。

新	国語力の向上	1,223千円	0千円
---	--------	---------	-----

すべての学びの基本である国語力の向上を目指し、荒川区版の「推薦図書のリスト」「読書記録ノート」の作成や「漢字コンテスト」、「作文コンテスト」を実施します。

新	荒川区教育ビジョンの策定	822千円	0千円
---	--------------	-------	-----

荒川区の教育について、主として学校教育の視点から、これまでの取り組みや現状の分析等を行い、今後の学校教育のあり方や施策の方向性を明らかにするために、(仮称)荒川区教育ビジョンを策定します。

新	ようこそ青年海外協力隊	639千円	0千円
---	-------------	-------	-----

青年海外協力隊として活躍された方々を区内小中学校に招き、現地での体験にもとづく特別授業を行い、子どもたちの視野を広げ、夢や希望を育みます。

新	子ども読書活動推進計画事業費	1,914千円	0千円
---	----------------	---------	-----

荒川区に育つ0歳から18歳までの全ての子どもを対象とする「荒川区子ども読書活動推進計画」を策定し、様々な読書機会の提供と読書環境整備を図ることにより、家庭、地域及び関係機関が連携し、地域社会全体で子ども達の読書活動の推進に取り組みます。

新	図書館IT整備事業費	1,276千円	0千円
---	------------	---------	-----

図書館が作成した、テーマごとのリンク集や地域資料等の情報を提供していきます。このため、インターネット利用のパソコンを固定型のパソコンに切り換えて、利便性を図ります。

	第20回川の手荒川まつり記念事業	26,345千円	7,500千円
--	------------------	----------	---------

川の手荒川まつり20回を記念し、従来のイベントに加え、「都市間交流シンポジウム」、「交流都市郷土芸能の催し」、「交流都市特産品のプレゼント」を実施します。

	学校図書館の拡大整備	173,333千円	21,555千円
--	------------	-----------	----------

学校図書館を、読書活動を支援する「読書センター」として、また、教科学習や自発的な調べ学習と連携する「学習情報センター」として十分に機能させるために、蔵書の充実、書架の増設・更新、管理システムの導入拡大等を図ります。

	学校図書館指導員の配置	5,402千円	3,024千円
--	-------------	---------	---------

学校図書館機能の充実を図るため、専門的な立場から、学校図書館の運営や読書活動等を推進する学校図書館指導員を4校に配置します。

	荒川区教師養成講座	702千円	826千円
--	-----------	-------	-------

本区で新規採用後4年目となる教員及び初めての異動を経験して本区に着任した教員を対象に、「授業力」の基本を身に付けるための「荒川区教師養成講座」を実施します。

	生涯スポーツ振興事業	2,000千円	3,000千円
--	------------	---------	---------

すべての区民が、それぞれの体力や年齢、技術、目的等に応じて、スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、誰でも楽しめるスポーツ教室の実施や総合型地域スポーツクラブの調査・研究を行います。

	社会教育サポーター	200千円	200千円
--	-----------	-------	-------

区内の住民や団体がもつ能力・技術などをサポーター人材バンク（サポーター100人の会）として登録し、サポーターが地域において、主に青少年を対象とした、生涯学習活動の助言・指導を通して、青少年健全育成及び生涯学習の振興を図ります。

	中学校への「勤労留学」の導入	1,434千円	541千円
--	----------------	---------	-------

勤労観や職業観を醸成する「職業教育」を体系的に行う一環として、中学生が、実際に企業や商店などで1週間程度働く「勤労留学」を導入し、子どもたちに社会の一員であることを実感させ、社会に役に立つ喜びや、働くことの大切さなどを体験的に学ばせます。

	小学校英語教育の推進	67,887千円	67,689千円
--	------------	----------	----------

「英語科」として、全小学校全学年において週1時間、外国人指導員を活用しながら、会話を中心とした英語授業を実施します。

	中学校英語教育の充実・強化	44,353千円	45,070千円
--	---------------	----------	----------

全中学校において、週4時間、実践的なコミュニケーション能力を含めた総合的な英語力育成のための英語授業を実施します。

	ワールドスクールの実施	5,583千円	5,583千円
--	-------------	---------	---------

清里高原の自然の中で外国人と一緒に過ごすことにより、授業で学んだ英語に慣れ親しむとともに、英語への興味・関心を一層高め、このことを通し、本区英語教育の充実を図ります。

3 健康・福祉

18年度予算額 17年度予算額

新	転倒予防普及啓発事業	18,578千円	0千円
---	------------	----------	-----

「4万人の筋力アップ大作戦」と題し、1,000人規模の区民による「荒川ころばん体操」や先進自治体を招く「転倒予防サミット」などを実施するほか、学識経験者や区民の代表による懇談会を設置し、区独自の介護予防施策について考えます。

新	高齢者虐待対策事業	7,148千円	0千円
---	-----------	---------	-----

高齢者への虐待を防止するため、啓発活動や関係機関によるネットワークづくり、弁護士等による専門相談を行うとともに、緊急医療保護のためのベッドを確保します。

新	障害者雇用支援事業	3,858千円	0千円
---	-----------	---------	-----

区内企業の障害者雇用を促進するため、区内企業の障害者雇用意向等調査を行います。また、障害者雇用に積極的な企業に対し支援を行います。

新	小規模通所授産施設等に対する就労支援促進	6,080千円	0千円
---	----------------------	---------	-----

区内の心身障害者小規模通所授産施設等の訓練施設において、通所者の一般就労に向けての取り組みを行った際に、その費用の一部を補助します。

平成18年度6施設

新	障害児移動介護事業	1,872千円	0千円
---	-----------	---------	-----

親の病気等で通学が困難な状況等にある障害のある児童・生徒が心身障害学級や養護学校に通学する際や、学童クラブに通う際にガイドヘルパーを派遣し移動介護を行います。

新	障害児タイムケア事業	3,000千円	0千円
---	------------	---------	-----

障害のある中高生等が養護学校等下校後に活動する場を確保し、障害児を持つ親の就労支援や障害児を日常的にケアする家族の休息を図ります。

平成18年10月開所予定

新	鉄道駅エレベーター等整備支援事業	55,000千円	0千円
---	------------------	----------	-----

鉄道事業者が行う鉄道駅のエレベーター設置等の事業に補助します。

J R西日暮里駅 エレベーター2基設置

新	1歳児プチ健診	1,371千円	0千円
---	---------	---------	-----

1歳児に健診の機会を設け、子を持つ親の育児支援と、麻しん・風しんの予防接種の早期接種及び接種率向上を図ります。

	介護予防のさらなる推進	19,729千円	16,739千円
--	-------------	----------	----------

高齢者が要支援・要介護状態となることを防ぐために、転倒予防、筋力向上、会食サービス、認知症予防などの介護予防プログラムを充実するとともに、低栄養予防教室や口腔保健教室等の新規事業を実施します。

	地域ぐるみの介護予防の展開	835千円	927千円
--	---------------	-------	-------

区民の自主的・継続的な活動を活性化し、地域ぐるみで介護予防の取り組みを推進するため、区民を対象としたリーダー養成講座及びフォロー講座を実施します。

	認知症高齢者グループホームの整備補助	90,000千円	55,000千円
--	--------------------	----------	----------

認知症高齢者の地域での生活を支援するため、民間のグループホームの整備費を補助します。

2か所 4ユニット(1ユニットあたり定員5~9名)

	障害者就労支援センター運営費	16,821千円	16,597千円
--	----------------	----------	----------

障害者の就労を維持・促進するため、就労面、生活面の支援を行うコーディネーターを配置します。

ジョブあらかわ

	重度身体障害者グループホームの運営支援	7,332千円	12,269千円
--	---------------------	---------	----------

重度身体障害者が地域で生活を営めるように、日常生活に適した居室などを備え、介助員等を配置したグループホームを運営する法人に対して、運営費の一部を補助します。

1か所(定員5名)

	コミュニティバス障害者利用者負担軽減	1,460千円	566千円
--	--------------------	---------	-------

障害者の交通移動手段の確保を図るため、障害者手帳所持者について区内を運行するコミュニティバスの運賃を免除します。

	地域ぐるみの健康づくり推進事業	23,864千円	7,266千円
--	-----------------	----------	---------

誰もが健康で生き生きと暮らせる生涯健康都市あらかわの実現に向け、区民の早世を予防し、健康寿命をのばすことに取り組みます。

4 子育て

18年度予算額 17年度予算額

新	親子ふれあい事業の実施	12,689千円	0千円
---	-------------	----------	-----

ひろば館・ふれあい館に親子でいつでも遊ぶことが出来る場を提供し、利用者同士の交流や遊びの指導・育児相談も行います。

ひろば館5館・ふれあい館4館

新	遊びサポーター制度の開始	238千円	0千円
---	--------------	-------	-----

集団遊び・昔遊びの楽しさを子どもたちに体験させるため、子育て自主グループやPTAの活動、学校での事業等で、遊びの講師役となる遊びサポーターを派遣します。

ひろば館5館

新	小中学生と幼児との交流事業の実施	233千円	0千円
---	------------------	-------	-----

小中学生が乳幼児とのふれあいを通じて、子育ての楽しさや命の尊さ等を体験する交流事業を実施します。

ひろば館5館

新	産後支援ボランティア支援事業	258千円	0千円
---	----------------	-------	-----

出産後間もない家庭に対する支援制度の検討にあたって、首都大学東京とボランティアが中心となった支援活動をモデル事業として実施・検証します。

新	保育園の給食サービスの充実	37,686千円	0千円
---	---------------	----------	-----

保育園において食育の推進、アレルギー対応の強化及び給食内容の充実などサービスの向上を図ります。これらを効率的・効果的に実施するため、保育園に非常勤栄養士を配置するとともに、給食調理業務を委託します。

18年4月実施 2園

新	母子家庭の自立・就業支援の実施	1,374千円	0千円
---	-----------------	---------	-----

児童扶養手当受給者の自立を促進するため、個々の受給者のケースに応じた自立支援プログラムを策定し、ハローワーク等と連携し就業・自立支援を実施します。

新	ショートステイ事業の実施	7,769千円	0千円
---	--------------	---------	-----

保護者の出産、疾病や冠婚葬祭などにより子どもの養育が一時的に困難な場合、母子生活支援施設ハイツ尾竹内で、一定期間、昼夜間にわたり子どもを養育します。

新	準夜間小児初期救急医療事業	50,829千円	0千円
---	---------------	----------	-----

平日の準夜間における小児の初期救急医療体制を確保し、小児医療の充実及び子育ての支援の充実を図ります。

	子ども家庭支援センター移転・拡充	60,739千円	42,679千円
--	------------------	----------	----------

センターの移転により、新たに独立した相談室の確保、情報提供コーナーや子育てグループ等の活動の場を設置するとともに、相談体制の充実、子育て情報の入手・発信など支援機能を拡充します。

	子育て交流サロンの拡大	15,698千円	10,117千円
--	-------------	----------	----------

在宅で子育て中の親子が、いつでも気軽に交流や相談ができるよう、子育て交流サロンを増設します。

3か所 4か所（子ども家庭支援センター内交流サロン含む）

	児童手当制度の充実	864,415千円	734,965千円
--	-----------	-----------	-----------

支給対象児童を小学校6学年修了前までに拡大するとともに、所得制限を緩和します。

	延長保育実施園の拡大	93,736千円	78,424千円
--	------------	----------	----------

身近な保育園で延長保育の利用ができるよう、実施園を増やします。

15園 17園

	認証保育所の設置促進	283,964千円	212,338千円
--	------------	-----------	-----------

多様化する保育ニーズに対応するため、駅前に開設する認証保育所に対する開設準備経費を補助し、設置を促進するとともに、すべての認証保育所に対して運営費を補助します。

認証保育所 8か所 10か所

	一時保育事業の拡大	10,620千円	4,128千円
--	-----------	----------	---------

在宅で育児をする保護者が、育児疲れの解消や、行事への参加等のために利用できる一時保育の実施園を拡大します。

専用スペース実施園2園 3園

	学童クラブ事業の充実	334,339千円	229,138千円
--	------------	-----------	-----------

小学校1～3年生で、放課後帰宅しても保護者の適切な保護を受けられない児童のため、学童クラブを運営します。学童クラブの需要に対応するため、新たな学童クラブを設置します。また、児童が安心して利用できるように安全対策を講じます。

総数21クラブ 23クラブ

5 防災・防犯

18年度予算額 17年度予算額

新	災害時における初動態勢の充実	72,759千円	0千円
---	----------------	----------	-----

災害時における初動態勢の充実を図るため、全職員を対象とした救命講習会の実施等や特別機動チームの装備の充実・特別非常参集職員の増員・災害用資器材の整備・高所カメラの設置・情報伝達の充実等の事業を実施します。

新	防災行政無線難聴対策の実施	30,954千円	0千円
---	---------------	----------	-----

屋外拡声子局の難聴対策として、旧型スピーカーの交換や、屋外拡声子局の増設を行います。

旧型スピーカー25局交換、屋外拡声子局5か所増設

新	洪水ハザードマップの作成	2,323千円	0千円
---	--------------	---------	-----

水害に対し区民が安全に避難できるよう、洪水ハザードマップの作成を行い、区報により区民への周知を行います。

新	体系的な防災計画の再構築	4,350千円	0千円
---	--------------	---------	-----

荒川区地域防災計画の見直しに際し、コンサルタントへの作成委託を行い、備蓄計画等の見直しを図ります。

新	家庭用火災報知器の整備	57,600千円	0千円
---	-------------	----------	-----

区民の防火対策のため、区内の各家庭に火災報知器を整備し、火災の早期発見や延焼防止に努めるとともに、区民の防火意識の高揚を図ります。

新	学校安全パトロールの実施	88,769千円	0千円
---	--------------	----------	-----

下校時の児童の安全を確保するため、すべての小学校及び学童クラブで「学校安全パトロール」を実施します。

新	園児安全推進員の配置	14,522千円	0千円
---	------------	----------	-----

夕方以降の園児お迎え時の安全を確保するため、すべての保育園に園児安全推進員を配置します。

新	学校への防犯カメラの設置	61,500千円	0千円
---	--------------	----------	-----

学校内への不審者の侵入による犯罪を未然に防ぐために、区立幼稚園及び小中学校全校に防犯カメラを設置します。

	防災訓練の充実	12,200千円	6,785千円
--	---------	----------	---------

区内全地域を対象とした総合震災訓練実施や、図上訓練、特別非常参集職員の参集訓練等を充実させることで、区の防災力向上を図ります。

	地域安全マップの作成	810千円	270千円
--	------------	-------	-------

区民の自助・互助能力の向上を図るため、行政・防災関係機関・区民により区内の防犯・防災上の危険箇所等を調査・集約し、地図を作成します。

3 小学校通学区域

	暗がり対策	5,000千円	10,000千円
--	-------	---------	----------

地域住民が自らのまちを歩いて暗がりとなる場所を調査し、その結果に基づき、区が街路灯の照度改善や、門や塀、駐車場等への照明設備設置へ補助を行います。

	安全・安心パトロールカーの巡回強化	34,562千円	18,240千円
--	-------------------	----------	----------

区の安全・安心パトロールカーの巡回について、時間延長とミニパトロールカーの増配備を行い、犯罪の未然防止と子どもの安全確保を図ります。

安全安心パトロールカー 3台

	児童安全推進員の配置	31,821千円	28,671千円
--	------------	----------	----------

児童の学校内での安全を確保するため、すべての小学校に児童安全推進員を配置します。

	学校情報配信システムの拡大実施	7,155千円	6,000千円
--	-----------------	---------	---------

子どもの安全に関わる情報を、いち早く保護者に知らせるための「学校情報配信システム」を、18年度には幼稚園にも拡大して実施します。

6 まちづくり

18年度予算額 17年度予算額

新	花の公園整備事業費	16,408千円	0千円
---	-----------	----------	-----

荒川公園に新たに花壇をつくり、花のあふれる魅力ある公園として整備します。

	都市防災不燃化促進事業	57,509千円	62,716千円
--	-------------	----------	----------

放射12号線(補助107号線)、補助90号線、補助189号線、補助90号線第二地区において耐火建築物を建築する費用の一部を助成します。

	防災生活圏促進事業	17,877千円	10,670千円
--	-----------	----------	----------

防災生活圏促進事業地区において、災害に強いまちを目指し耐火建築物を建築する費用の一部を助成します。また、防災まちづくり連絡会への支援を行います。

	密集住宅市街地整備促進事業	95,170千円	89,373千円
--	---------------	----------	----------

荒川五・六丁目、町屋二・三・四丁目、南千住一・荒川一丁目、荒川二・四・七丁目地区において防災広場等を整備するとともに、主要生活道路の拡幅・整備を行います。

現在行っている防災生活圏促進事業を、本事業に移行するための調査を行います。

	細街路拡幅整備事業	244,550千円	245,043千円
--	-----------	-----------	-----------

防災性の向上、居住環境の改善を図るため、建築物の新築、建替えの際等に、建築主の協力を得て、細街路を拡幅整備します。

	市街地再開発事業の推進	5,015,408千円	2,442,587千円
--	-------------	-------------	-------------

ひぐらしの里西地区(建築工事)	南千住西口駅前地区(権利変換計画認可等)
ひぐらしの里中央地区(建築工事)	三河島駅北地区(都市計画決定等)
ひぐらしの里北地区(建築工事等)	三河島駅南地区(都市計画決定等)

	木造住宅耐震補強推進事業	3,750千円	3,750千円
--	--------------	---------	---------

大地震発生時に倒壊のおそれのある住宅に対し、耐震診断士の派遣、補強工事の助成を行います。

	西日暮里三丁目まちづくりの推進	4,801千円	2,316千円
--	-----------------	---------	---------

西日暮里三丁目地域内に計画されている未整備の都市計画道路が東京都の「整備見直し候補区間」に選定されたことを契機に、同地域のまちづくり計画を住民主体で作成していきます。

	都電沿線バラ植栽事業費	10,015千円	10,504千円
--	-------------	----------	----------

都電の沿線に植栽されているバラについて補植を行うとともに、区民が主体となって維持管理を行います。

	区民主体の街なか花壇づくり事業費	19,550千円	385千円
--	------------------	----------	-------

区民が自ら花と緑の空間を創出するため、花壇をつくり、維持管理に必要な活動を区が支援・指導していきます。

7 環境

18年度予算額 17年度予算額

新	(仮称)環境都市あらかわづくり懇談会	4,259千円	0千円
---	--------------------	---------	-----

「環境都市あらかわ」の実現に向けて、区の環境施策を総合的・効果的に推進するために、(仮称)環境都市あらかわづくり懇談会を設置します。

新	地球温暖化・ヒートアイランド対策推進事業	32,883千円	0千円
---	----------------------	----------	-----

地球温暖化・ヒートアイランド対策を推進するために、対策技術を区施設へ率先導入し啓発を図ります。また、区民、事業者による対策を促進するため、太陽光発電装置等の導入補助制度を策定します。

新	(仮称)エコセンターの設置準備	574千円	0千円
---	-----------------	-------	-----

リサイクル施策と環境教育等の施策を併せて実施する拠点施設として、(仮称)エコセンターを設置します。今年度は、学識経験者や環境NPO等を委員とする懇談会を設置し、センターで実施する事業や導入機能等の検討を行います。

新	学校エコ改修の実施	39,742千円	0千円
---	-----------	----------	-----

地域や学校の特徴に応じた効果的な省エネ・新エネ対策を講じ、快適な学習環境を確保する「学校エコ改修」を実施します。

第七峡田小学校

	学校での環境学習推進	9,070千円	5,286千円
--	------------	---------	---------

未来を担う子どもたちが環境問題に対する理解を深め、具体的に取り組む姿勢を養っていくために、学校での環境教育を推進します。

	まちの環境美化推進	2,971千円	4,471千円
--	-----------	---------	---------

環境美化活動を区民等とともに実践し、清潔で美しい荒川区をつくるため、啓発や美化対策の事業を推進します。また、吸い殻のポイ捨て防止と子どもなど通行者の安全を確保するため、歩きたばこの防止対策を推進します。

	集団回収支援事業	222,689千円	163,304千円
--	----------	-----------	-----------

行政による回収から集団回収への移行を推進するため、町会等が中心となって資源を回収できる体制を整えます。また、集団回収モデル事業を実施する団体に対して、規模に応じたモデル回収支援金の支給等、支援策を継続し、実施団体(町会)を拡大するとともに、ペットボトル等の回収品目の拡大を行い、資源回収量の増大を図ります。

	環境に配慮した道路の整備	12,002千円	5,380千円
--	--------------	----------	---------

道路舗装の蓄熱を抑制するとともに、路面温度を低減させる遮熱性舗装を実施し、都市部で顕著なヒートアイランド現象の緩和を図ります。

8 区民サービス・区政推進

18年度予算額 17年度予算額

新	政策顧問	1,586千円	0千円
---	------	---------	-----

区長等が、高い識見を有する者から区政に関する意見等を求めることにより、区政運営のレベルアップと区民サービスの一層の向上を図ります。

新	荒川ヒューマンリソースの設立準備	2,043千円	0千円
---	------------------	---------	-----

区から独立した人材に関する専管組織を設立することにより、2007年問題の受け皿を作り、区政運営の基盤となる人材を幅広い分野から活用するとともに、区職員の資質の向上を図ります。

新	新たな人事考課制度の構築	3,000千円	0千円
---	--------------	---------	-----

現行の人事考課制度を、より一層客観性、透明性、納得性を持たせた制度に再構築することで、これまで以上に勤務成績を反映させた昇給制度（査定昇給制度）の確立を目指します。

新	職務分析調査委託	3,000千円	0千円
---	----------	---------	-----

職務（仕事）の詳細な内容を明確に定義し、分析することにより、これまで以上に効率的・効果的な人員配置を行い、少数精鋭の区政運営を実現します。

新	区民事務所の整備	82,091千円	0千円
---	----------	----------	-----

区民サービスの向上と効率的な行政運営を図るため、南千住の東西区民事務所を統合し、新たな区民事務所を設置します。

（仮称）南千住区民事務所（建設） 21年度開設予定（18年度権利変換）

	区政改革懇談会	3,353千円	2,930千円
--	---------	---------	---------

区政の様々な課題について、幅広い層の区民が議論し解決の道筋を探るため、区政改革懇談会を各部に設置し、具体的な施策について検討します。

	公務員倫理研修	974千円	818千円
--	---------	-------	-------

全体の奉仕者である公務員としての本旨を常に自覚し、区政の透明性と公平性を更に高めるため、区独自の公務員倫理研修を計画的に実施します。

	新基本構想策定	8,441千円	31,703千円
--	---------	---------	----------

社会環境等の変化に的確に対応するため、新たな基本構想を策定します。区長の附属機関である基本構想審議会において、区政改革懇談会の提言を踏まえて審議を行い、区民の意見を積極的に反映していきます。

	行政評価システムの推進	5,000千円	5,355千円
--	-------------	---------	---------

施策や事業等を分析・評価し、成果を重視した効果的・効率的な区政運営を行うため、全ての事業等を対象とした行政評価システムを推進します。

	新たなコミュニティ施設の整備	369,958千円	232,427千円
--	----------------	-----------	-----------

区民の多様なニーズに応えた地域コミュニティの拠点となるよう、「ふれあい館」を整備します。

（仮称）西日暮里ふれあい館（建設） 20年度開設予定

（仮称）町屋ふれあい館（改修） 20年度開設予定（18年度設計）

（仮称）南千住七丁目ふれあい館（建設） 21年度開設予定（18年度権利変換）

9 17年度最終補正予算案の概要

平成17年度最終補正予算は、まちづくりの推進などの経費として、一般会計で3億円の補正を行います。

このための財源は、事業に伴う国や都からの補助金のほか、基金・起債の活用などで対応します。

また、特別会計では、国民健康保険事業特別会計と介護保健医療特別会計で事業費の補正を行います。

補正規模及び財源

(単位：百万円)

区 分	既定予算額	補正額	補正後予算額
一 般 会 計	80,433	310	80,743
国民健康保険事業特別会計	22,146	300	21,846
介護保険事業特別会計	10,159	187	10,346

【一般会計財源内訳】 国庫支出金 109 百万円、都支出金 80 百万円、繰入金 53 百万円、特別区債 68 百万円

補正事項（一般会計）

- (1) まちづくりの推進 314,600 千円
都市計画道路等の整備 145,575 千円
早期完成を目指し、補助 321 号線、補助 107 号線、区道第 185 号線の用地を取得します。
ひろば用地の取得 169,025 千円
密集住宅市街地整備促進事業の推進区域において、ひろば用地を取得します。
- (2) その他 4,652 千円
国民健康保険事業特別会計繰出金 26,716 千円
国民健康保険事業特別会計における歳出経費の減額に伴い、一般会計からの繰り出しに必要な経費を補正します。
介護保険事業特別会計繰出金 22,064 千円
介護保険事業特別会計における保険給付費の増加に対応するため、一般会計からの繰り出しに必要な経費を補正します。